

2026年5月7日

YACかわら版707

がっさん

月山と水田

5月の連休に、色鮮やかな花々が咲きみだれる観光農園が散在する人気の世羅（せら）台地を巡りました。中四国各地からの自動車ナンバーに多く出会いました。花畑では、アゲハチョウの仲間が乱舞する姿や、五月晴れの空にひばりのホバリングも見かけました。台地の北側に降った雨は日本海、南側に降った雨は瀬戸内海に注ぐという説明を聞きながら窓の景色をきょきょろしながら楽しんでいました。地域の水田は田植えの時期でした。水田の水面が印象的でした。①

この日センチネル2の観測がありました。帰宅後、コペルニクスブラウザを開きました。写真撮影場所をマークしました。（位置情報 34.6202, 132.9102）②～②-2-3

これからの水田の様子を現地の様子とセンチネル2画像と比較しながら追ってみようと思いつきました。現地にはめったに出向けません、ライブカメラを活用することにしました。録画記録が利用できる場所を探しました。インターネット自然研究所サイトで、水田が映り込んでいる場所を探しました。

<https://www.sizenken.biodic.go.jp/>

興味深い場所がありました。「羽黒町からみた月山遠望」手前に水田があります。（位置情報38.7154, 139.8819）

https://www.sizenken.biodic.go.jp/view_new.php?no=91

山形県では田植前です。田んぼの土の準備作業を終えているようです。録画画像では確認できませんが、フォルス画像では田んぼには水が入っているように見えます。⑤-2⑤-3

これから田んぼにしっかり水を入れ、代（しろ）かきが行われるのでしょうか。昨年は5月9日画像で確認できます。④

フォルスカラー画像では、水の入れてある水田は黒くみえます。これからの「羽黒町からみた月山遠望」の画像と、センチネル2観測画像を比較する研究が楽しみです。

